



警察

特殊詐欺多発中! 「自分は大丈夫」と思わず、対策を!



大阪府東淀川警察署長
 いちむら りょういち
 警視 市村 竜一さん

**昨年を上回る勢いで特殊詐欺が発生!
 歳末はいつも以上に防犯意識を高めて**

東淀川警察署長の市村です。大阪府下での交番勤務や警察学校教官、生活安全部門などでの勤務を経て、勤続33年目の令和7年3月、東淀川警察署長に就任しました。

区民の皆さんには、歳末に増加傾向にある犯罪や事故に巻き込まれないよう警戒をお願いします。特に注意いただきたいのが、近年多発する「特殊詐欺」。表の通り、東淀川区における令和6年中の特殊詐欺被害の認知件数は29件(被害額約7,100万円)、そして令和7年中(9月末時点)の認知件数は26件(被害額約7,100万円)と、昨年を超える勢いで発生しています。また、投資ブームやSNSの普及に乗じて増えている「SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺」にも要注意です。「特殊詐欺」と比べて被害件数は少ないものの被害額は倍以上。1件あたりの被害額が甚大であり深刻です。

特殊詐欺	令和6年中	令和7年中(9月末時点)
大阪府下	件数 2,644件 被害額 約60億円	2,438件 約87億円
東淀川区	件数 29件 被害額 約7,100万円	26件 約7,100万円

SNS投資詐欺・ロマンス詐欺	令和6年中	令和7年中(9月末時点)
大阪府下	件数 1,024件 被害額 約127億円	1,005件 約122億円
東淀川区	件数 9件 被害額 約1億8,000万円	2件 約2,500万円

**若者も被害に! ニセ警察官による詐欺に注意!!
 SNSで逮捕状を示すことは絶対にありません**

「特殊詐欺」の新しい手口として、SNSを悪用したニセ警察官によるオレオレ詐欺が発生しています。SNSのビデオ通話でニセ警察官が逮捕状を示し、捜査費用などの名目でお金を騙し取るといったもので、30代の若い世代も被害にあっています。警察官がSNSやウェブサイトで警察手帳や逮捕状を示すこと、送金を求めることは絶対にありませんので、すぐに最寄りの警察署に通報するようにしてください。また、「SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺」の被害防止策として、「会ったこともない相手からのお金のお話は詐欺」と考えるようにしましょう。

多様化する犯罪の手口を知り、対策をするために「安まちアプリ」や「仮想体験ツール」などの活用をお願いします。警察署主催の防犯教室にも参加いただき、大切な家族や地域の皆さんと情報共有しながら、防犯意識を高めてください。

注意!

**若い世代にも被害拡大!
 やってみよう! 詐欺被害の仮想体験**

ニセ警察詐欺体験

ニセ警察官とのやり取りやニセ逮捕状・ニセウェブサイトなどの犯人の実際の手口を体験できます。



- step1 二次元コードを読み取り
- step2 「トーク」ボタンをタップ
- step3 「体験開始」をタップ

※利用は無料ですが、通信費がかかります。

▶ SNS型投資詐欺体験

バナー広告をクリックするとメッセージが届き、犯人とやり取りする体験ができます。



▶ 闇バイト応募トラブル体験
 しつこく勧誘され、家族や友人に危害を加えるなどと脅迫される状況を体験できます。

▶ SNS型ロマンス詐欺体験



男性とのやりとり 女性とのやりとり



詳しくは
 こちら

**安まちアプリをご活用ください!
 大阪府警察からアプリで防犯情報をお届けします**

消防

防火の輪 継いでいこうや わたしらで

**火災の発生リスクが高まる冬季
 巡回警戒や防火指導を強化中!**

東淀川消防署長の野村です。これまで救助隊長や災害現場を司る司令課長などを経て、令和7年4月に東淀川消防署長に就任しました。

冬季は、暖房器具の使用機会の増加や空気の乾燥により火災が発生しやすくなります。加えて、何かと慌ただしい歳末は、火の元への注意もおろそかになることも多いです。東淀川消防署では、火災予防のための呼びかけとして巡回警戒や街頭広報を行うほか、区内の住宅を訪問しての防火指導を実施します。ご家庭におかれましても、火の元に充分注意してお過ごしください。



大阪市東淀川消防署長
 のむら あきら
 消防正監 野村 彰さん

**火災を未然に防ぐ心がけを徹底するとともに
 万が一の火災時に備え、火災警報器などの設置と点検を**

昨年の火災の原因は1位たばこ、2位電気配線類、3位電気製品です。ほかにも、ストーブ及び電気器具の誤使用などが火災の原因になっています。火災予防のポイントとして、寝たばこをしない、吸い殻の完全消火、家の周囲に燃えやすいものを置かない、タコ足配線をしない、電源プラグのほこりの掃除、ストーブ・電気器具を正しく使用する、コンロ使用時にその場を離れないなど、適切な対策を徹底しましょう。



また、万が一起きてしまった火災の被害を軽減するためには、日頃からの備えが重要です。ご家庭に初期消火のための消火器を設置したり、火災を早く知るための火災警報器の設置・点検や、火災を広げないための防災品の使用をお願いします。

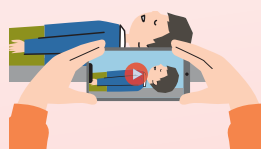
**救急車の適正利用、ライブ映像119、マイナ救急など
 皆さんの大切な命を守るための取組にご協力ください**

東淀川区では、毎日30～40件の救急車の利用があります。救急要請が増加する年末年始、改めて救急車の適正利用をお願いします。救急車を呼ぶか迷った際は、医療従事者が応答する「#7119」救急安心センターにおさかにお電話ください。また、119番通報された際、消防が必要と判断した場合に「ライブ映像119」(映像通報システム)の利用をお願いすることがあります。これは、通報者のスマホのカメラ機能やウェブブラウザを利用して映像の送受信を行い、言葉では説明しづらい現場状況を明確に伝えることができるものです。事前登録などは不要ですので、迅速な救命活動のためにご協力をお願いします。

現在実施中の「マイナ救急」実証事業では、皆さんのマイナ保険証を活用して病院の受診歴や薬の処方歴などを把握し、より円滑に医療機関へ搬送する取組を行っています。もしものときに備えて、マイナ保険証の携行をお願いします。

緊急時の伝達がスムーズに

**スマホで現場の「今」を伝える
 ライブ映像119**



詳しくは
 こちら

**あなたの病歴などを正確に伝える
 マイナ救急**



あなたの病歴
 お薬の処方歴
 病院の受診歴



(実証事業/～2026年3月末)

詳しくは
 こちら

区役所

安全で安心な年末年始を過ごしていただくために

例年12月は、犯罪や火災が発生しやすい時期であり、警察・消防・区役所で歳末警戒にあたっています。また、年末には、地域の方々を中心に夜間巡回をして防火・防犯を呼びかける「歳末夜警」が実施されます。行政の取組だけでなく、地域での声かけや見守り活動を行っていただくことで、不審者を寄せ付けない「安全で安心して暮らせるまち」につながります。また、犯罪や火災による被害を

防ぐためには、一人ひとりの心がけが何よりも大切です。ぜひ、「特殊詐欺」「防火」「救急車の適正利用」などについて、ご家族や周りの方と話し合ってみてください。

最後になりましたが、来年が区民の皆さまにとって良い1年となりますようお祈り申し上げまして、歳末のご挨拶とさせていただきます。

東淀川区長 武富 康彦

